

教科名	国語	科目名	国語a	履修学年	中学・高校	3 年	A～E 組	
単位数	2 単位	使用教科書 補助教材等	国語3（ 光村図書）					
担当者	横田美月 根岸良和		光村の国語のワーク3（ 光村教育図書）					
学習目標	物語や論説文を読むことにより、社会生活で役に立つ国語の力を身に着ける。多様化する社会に必要な、論理的思考力を身に着ける。文章によって、自分の意見を他者に伝えられる表現力を身に着ける。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との多様な関わりの中で適切な表現を用いながら伝え合い、自分の思いや考えをより広げたり深めたりしている。		各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするとともに適切に活用するために、自らの学習状況を把握し、既習の内容を生かしながら課題や活動に取り組むとともに、積極的に学習しようとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査 基礎問題 ノート・ワーク		定期考査 応用問題 提出課題 創作（作文など）		授業態度 ノート・課題の提出状況			
学期末の 各観点比率(%)	50		30		20			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	・ 春休み課題「一房の葡萄」復習 ・ 握手 井上ひさし ・ [聞く] 意見を聞き、適切さを判断する				10	1学期中間考査	第1回到達度確認テスト
	5							
	6	・ 作られた「物語」を超えて 山極寿一 ・ わたしを束ねないで 新川和江				10	1学期期末考査	
	7							
	8							
2	9	・ 俳句の可能性 宇多喜代子 ・ 俳句を味わう ・ それでも言葉を 鷺田清一				9	2学期中間考査	第2回到達度確認テスト
	10							
	11	・ 高瀬舟 森鷗外 ・ 温かいスープ 今道友信 ・ アラスカとの出会い 星野道夫 ・ 律儀な桜 角田光代				10	2学期期末考査	
	12							
3	1	・ 故郷 魯迅				10	学年末考査	
	2							
	3							

教科名	国語	科目名	国語b	履修学年	（中学）・高校	3年	全	組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	国語3（光村図書）／光村の国語のワーク3（光村教育図書）／中学書写一・二・三年（光村図書）／読んで見て覚える重要古文単語3 1 5 四訂版（桐原書店）／基礎から解釈へ漢文必携五訂版（桐原書店）／ステップアップノート 30 古典文法基礎ドリル三訂版（河合出版） 教員作成によるプリント 類						
担当者	横田美月 荒井道知								
学習目標	・ 中2 から引き続き文語文法の基礎（形容詞・形容動詞）を習得し、古文読解への橋渡しをする。 ・ 漢文においても前学年から引き続き基礎（再読文字等）の習得をはかり、漢文読解の土台を強固にする。 ・ 基本的な毛筆書写（中3 では行書）の方法を習得させる。□								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	古典読解に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の伝統的な言語文化に親しんだり理解したりしている。		古典読解を通じ、「読むこと」「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で表現を工夫しながら伝え合い、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		各単元における知識及び技能を習得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、自らの学習に対する態度や現状を正確に理解し、先々の見通しを持ちながら粘り強く課題や活動に取り組んでいる。				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査□		定期考査・課題		音読・グループ学習・授業態度・課題提出の状況□				
学期末の 各観点比率(%)	60%		30%		10%				
授業計画									
学 期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時 間 数	評 価 区 分 1	評 価 区 分 2
1	4	文語文法…形容詞・形容動詞の活用 古文…『枕草子』（第一段）					2 6	中間 考査	第1回 到達度 確認テ スト
	5	動詞の活用小テスト（授業冒頭の10～15分）							
	6	文語文法…係り結びの法則 古文…『平家物語』（扇の的） 用言の活用小テスト（授業冒頭の10～15分）					2 5	期末 考査	
	7	書写…行書（全国書画展覧会に向けて） （答案返戻）					1		
	8								
2	9	書写…行書（全国書画展覧会に向けて） 漢詩の基礎知識 漢詩三編―「春暁」（孟浩然）・「絶句」（杜甫）・「黄鶴楼送孟浩然之広陵」（李白）					1 1 5	中間 考査	第2回 到達度 確認テ スト
	10	用言の活用小テスト（授業冒頭の10～15分）							
	11	漢文…再読文字① 漢文…故事成語「守株」（『韓非子』）・「推敲」（『唐詩紀事』） 古文単語小テスト（授業冒頭の10～15分）					2 5	期末 考査	
	12	文語文法…「ば」について （答案返戻）					2		
3	1	古文…『徒然草』（「公世の二位のせうとに」） 漢文…再読文字②					2 2	学 年 末 考 査	
	2	漢文…故事成語「蛇足」（『戦国策』） 古文単語小テスト（授業冒頭の10～15分）					4		
	3	（答案返戻）							
合計時間（定期考査含む）51～63時間									

教科名	国語	科目名	国語c	履修学年	中学・高校	3年	全	組
単位数	1単位	使用教科書 補助教材等	ロジカル国語表現Ⅲ(好学出版)					
担当者	竹内宙明 横田美月		教員作成プリント					
学習目標	「書く」「読む」「味わう」を各授業のテーマとして据え、文章を読み書きする手法を実践的に活用することができるよう、繰り返し練習する。また、コミュニケーション・自己表現のツールとして「ことば」を適切に使用できるようにするため、実用的な文章の読み取りや複数の資料や統計資料の読み取りも併せて行う。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けるとともに、情報の取り扱い方や関係性に着目し、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。		「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との多様な関わりの中で適切な表現を用いながら伝え合い、自分の思いや考えをより広げたり深めたりしている。		各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするとともに適切に活用するために、自らの学習状況を把握し、既習の内容を生かしながら課題や活動に取り組むとともに、積極的に学習しようとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	授業内課題 定期考査		授業内課題 定期考査		授業内課題 授業態度			
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	書くことの復習 書くことの基礎 正しい文を書く 論理のしくみ「接続語の働き」 論理の利用「説得力のある文章を論理的な構成で書く」				5	中間考査	
	5							
	6	論理の実践①「テーマについて、根拠・具体例を挙げて書く」 論理の実践②「テーマや立場を選んで書く」 準備講座 資料を読み取って比較する 論理の実践③「資料を読み取って意見を書く」				5	期末考査	
	7							
	8	学期まとめ課題						
2	9	論理の実践④「複数の資料を読み取って意見を書く」 論理の実践⑤「文章を読んで意見を書く」 出題傾向別①「テーマについて書く」 出題傾向別②「資料を読み取って意見を書く 作文①」 出題傾向別③「資料を読み取って意見を書く 作文②」 出題傾向別④「資料と会話文を読み取って意見を書く 作文」				5	中間考査	
	10							
	11	出題傾向別⑤「複数の資料と会話文を読み取って意見を書く 作文」 出題傾向別⑥「文章を読んで意見を書く 作文」 学期まとめ課題				5	期末考査	
	12							
3	1	論理や意見を発表する①「ディベート」 論理や意見を発表する②「卒業研究原稿作成」				5	学年末考査	
	2							
	3							